９月分　　№15

件　名	次世代の交通システム構想について
受付日	令和８年９月 28 日
ご意見・ご提案の概要	次世代の交通システム構想について、巨額の県民税投入による将来的な財政圧迫のリスク及び地域間の公平性を強く懸念する。 本構想では、「10 年後の運用開始」を目指すものであるが、急速に進展する自動運転バスや BRT などを活用した低コストで柔軟な交通政策への転換を強く求める。
県の考え方	県では、岐阜圏域において、岐阜市を核として魅力ある拠点を交通ネットワークで結び、圏域に賑わいを広げるまちづくりやリニア岐阜県駅を核としてリニア中央新幹線の開業効果を県内全域へ波及させるためのまちづくりなど、地域の特性を踏まえた取組を進めています。 現時点では、LRT の導入を決定しているものではありません。LRT のほか、BRT や路線バスの拡充について、輸送力、定時性、速達性、整備・維持管理費、まちづくりへの効果など、幅広い観点から、民間事業者、学識経験者、自治体などと一緒になって望ましい交通の姿を検討しています。 また、自動運転技術は運転士不足への対応に有効な手段として期待される一方、BRT の定時性や速達性を確保するためには、専用走行空間の整備が重要となります。こうしたそれぞれの特長を踏まえ、岐阜市の自動運転バスも参考にしながら、関係市町や交通事業者と連携し、地域の実情や将来需要に適した交通システムを検討してまいります。
担当課	都市建築部　都市政策課